

# 医療関係者向け

# やさしい

# 日本語研修

## 研修動画の視聴について

講座ページからフォームでお申し込みいただき、  
閲覧を希望した方には後日、  
本研修の動画を限定公開します。



外国人の患者さんに寄り添う「やさしい日本語」による対応を学ぶ  
—「こころの壁」も「ことばの壁」も低くするために—

2022年 **11**月 **2**日(水) 18:30~19:30

対 象 医療関係者(医師・看護師・助産師・薬剤師・保健師等)、  
医療機関職員、医療通訳者、その他外国人診療・対応に従事する方

開催方法 オンライン(zoom) 18:15~zoom開場

講師 **武田 裕子** 医師 (順天堂大学医学部 医学教育研究室 教授)  
アシスタント: 在住外国人

参加費  
無 料  
定員 **30**名



- 在住外国人に困りごとの調査をすると、医療に関することが必ず上位にきます。結果として十分な診療を受けられなかったり、受診した時には既に深刻化しているケースもあります。
- 外国人の増加とともに、医療者には、言葉の壁や文化習慣の違いなどに向き合いながら、外国人の患者さんに寄り添う対応力がいっそう求められています。
- そこで、在住外国人の背景等を知り、医療現場でも外国人の対応に役立つ「やさしい日本語」を学びます。ぜひご参加ください。
- 後日、研修動画が視聴可能です(講座申込者のみ)。



## 内 容

- 外国人の言語的背景、外国人を取り巻く環境とは
- 医療で用いる「やさしい日本語」概説
- 円滑なコミュニケーションのためのポイント
- 書き換えワーク(医療用語/文章変換)
- 診療時を想定したワーク等
- 社会資源、支援ツールの紹介



武田 裕子氏

**講師略歴** 1986年に筑波大学医学専門学群卒業。米国にてプライマリ・ケア研修を行い米国内科専門医資格取得。帰国後、筑波大学・琉球大学(地域医療部)・東京大学・三重大で地域医療教育及び国際協力に従事。ロンドン大学(2010-13)・ハーバード大学(2013-14) 研究員を経て2014年より現職。健康格差をテーマに医療者教育に従事。

## 申込み方法

財団のホームページからお申し込みください。



- 申込締切 2022年10月30日(日)
- 講座ページ <https://www.kifjp.org/2022tabunkakouza-yasashi>

\*申込者には後日、研修動画の視聴を案内します。

## 主催・問い合わせ先

**KIF** (公財) かながわ国際交流財団  
多文化共生グループ(担当 佐々木)  
TEL 045-620-4466 (平日 8:45~17:30)  
E-mail [tabunkajoin@kifjp.org](mailto:tabunkajoin@kifjp.org)

\*問い合わせメールには「医療関係者向けやさしい日本語講座」と明記してください。

- 協 力 医療 × 「やさしい日本語」研究会